

グランドデザイン・大阪(まちづくり)について(たたき台)

■ グランドデザインのねらいとイメージ

- 大都市として蓄積された都市インフラや都市拠点について、そのポテンシャルを最大限活用し、大阪の都市構造を大胆に転換していくためのグランドデザインとして策定。
- 大阪府・市の既成の枠組みで行われてきた都市改造を、広域的観点から統合し強力に推進。
- 今、動き始めている都市拠点の活力を、世界と戦える元気な大阪に欠かせない、大都市としての魅力づくりに向けて、どんどん進めていくイメージを打ち出す。
- 3月末の中間まとめでは、みどりを意識した都市魅力やくらし・人を取り戻す、主な東西南北の4拠点と主な都市軸のイメージを示し、6月に向けては、各拠点の方向性とそれを支える交通網などのインフラの考え方を示していきたい。

＜対象エリア:大阪中央環状道路内側のエリアを中心としたエリア＝大大阪(右図参照)＞

■ 理念(概念)

- 都市戦略として大阪がめざすべき方向性を共有する理念(概念)を明示。
 - ① 成長する大都市・大阪 ～国際都市競争に勝てる大都市・大阪へ～
 - ② 便利な省エネ都市・大阪
 - ③ 都市魅力あふれる大都市・大阪
 - ④ 安全な大都市・大阪

■ 視 点

- ボトムアップとパワーアップの両面からの実現方策。
 - ① 供給側のまちづくりから需要(利用者)側のまちづくりへ転換
 - ② 都市ストックの組替え・活用、真に必要な都市ストックの新設
 - ③ 民間活力の導入による国際競争力の強化
 - ④ 大胆な選択と集中

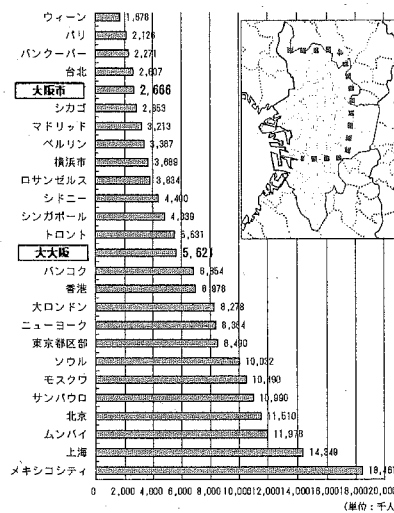
■ 広域都市構造とエリア都市構造

- ① 広域インフラ
 - ・リニア中央新幹線、北陸新幹線、新名神高速道路、関西国際空港、阪神港 など
- ② エリア都市構造
 - ・みどりの軸を中心に都市構造を変革
 - ・インフラ・拠点の改造

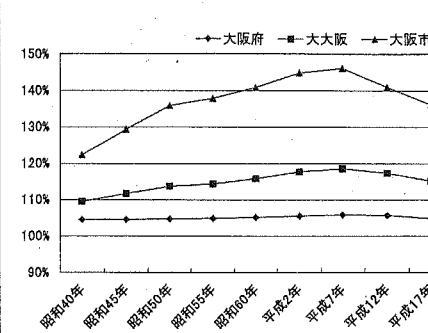
■ グランドデザイン実現に向けた取り組み

- ① インフラ運営組織の一元化
- ② 都市魅力実現のための都市ストック活用の体制づくり
- ③ 大都市制度の変革、国制度の変革の提案

(世界の主要都市との人口比較)

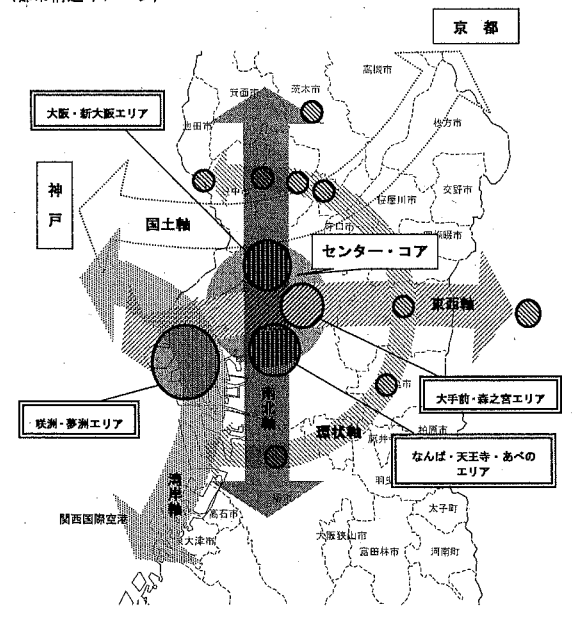


(大阪の昼夜間人口比率)



- ・ 大阪市の人口は台北並みであるが、大大阪では大阪市の2倍超に達し、シンガポールを上回る。
- ・ 大阪市の昼夜間比率は1.4前後であるが、大大阪では1.1～1.2程度となり、職住が均衡する。

(都市構造イメージ)



(センター・コア)

